

2026年3月期 第1四半期 決算説明資料

2025年8月

日本ケミコン株式会社

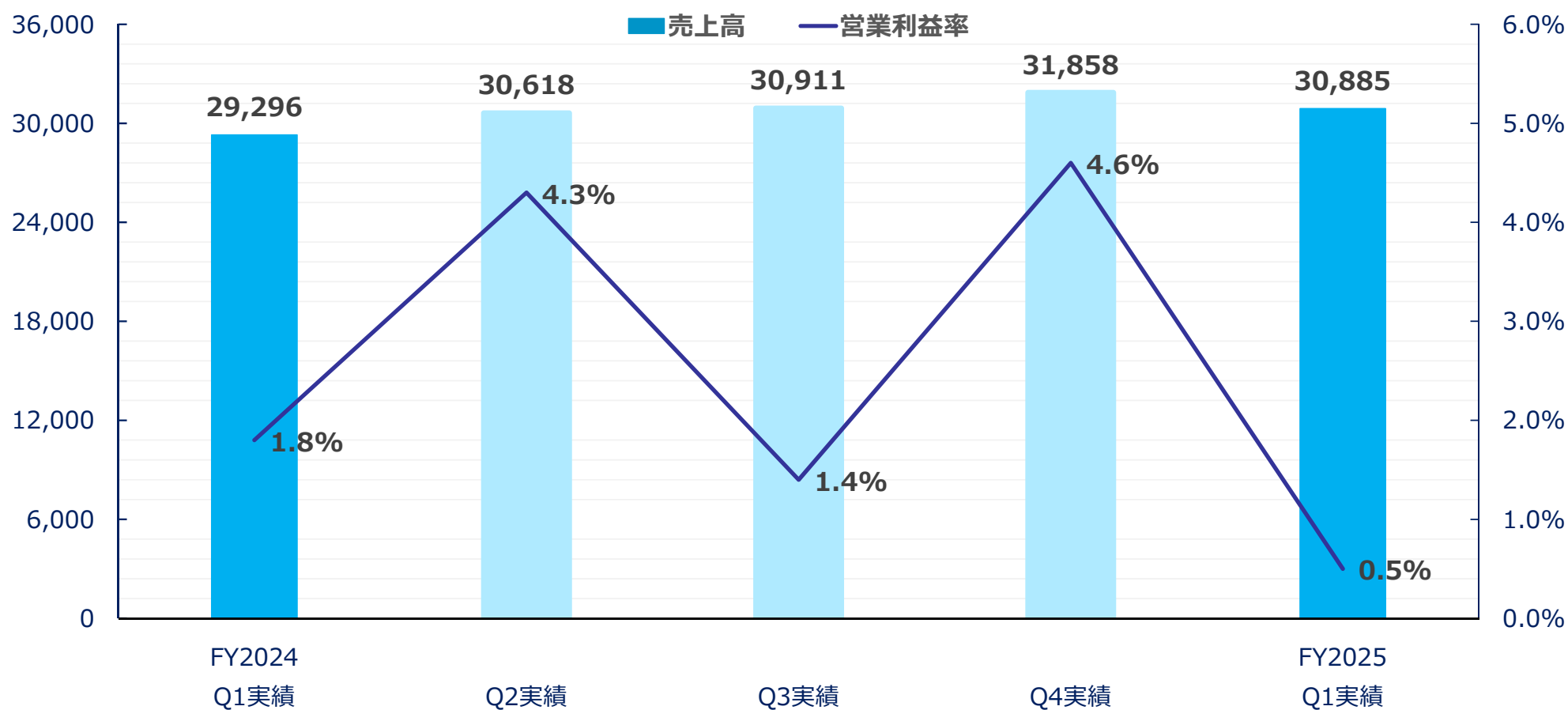
東証プライム 証券コード:6997

2026年3月期 第1四半期 売上高・営業利益率推移

米国関税の影響で車載市場は低迷する中、データセンター需要の増加でICT市場は増加

単位：百万円

営業利益率



2026年3月期 第1四半期 連結業績のポイント

2026年3月期 第1四半期決算のポイント

売上高

30,885百万円

前年同期比 +5.4%

営業利益

152百万円

前年同期比 ▲70.7%

親会社株主に帰属
する当期純利益

▲175百万円

◇ 売上高（市場動向）

◆ 車載市場

米国相互関税の影響で先行き不透明感が強まり、自動車需要が低迷した

◆ 産業機器市場

在庫調整は終息も、米国相互関税の影響から企業の投資意欲が減退し、本格的な需要回復に至らず

◆ ICT市場

データセンター向けサーバー需要が引き続き増加した（AIサーバーの需要拡大）

◇ 営業利益

◆ 為替の円高傾向と材料価格の高騰、製品ミックスの変化により、営業利益が前年同期比70.7%の減益となった

2026年3月期 第1四半期 連結業績実績（前年同期比）

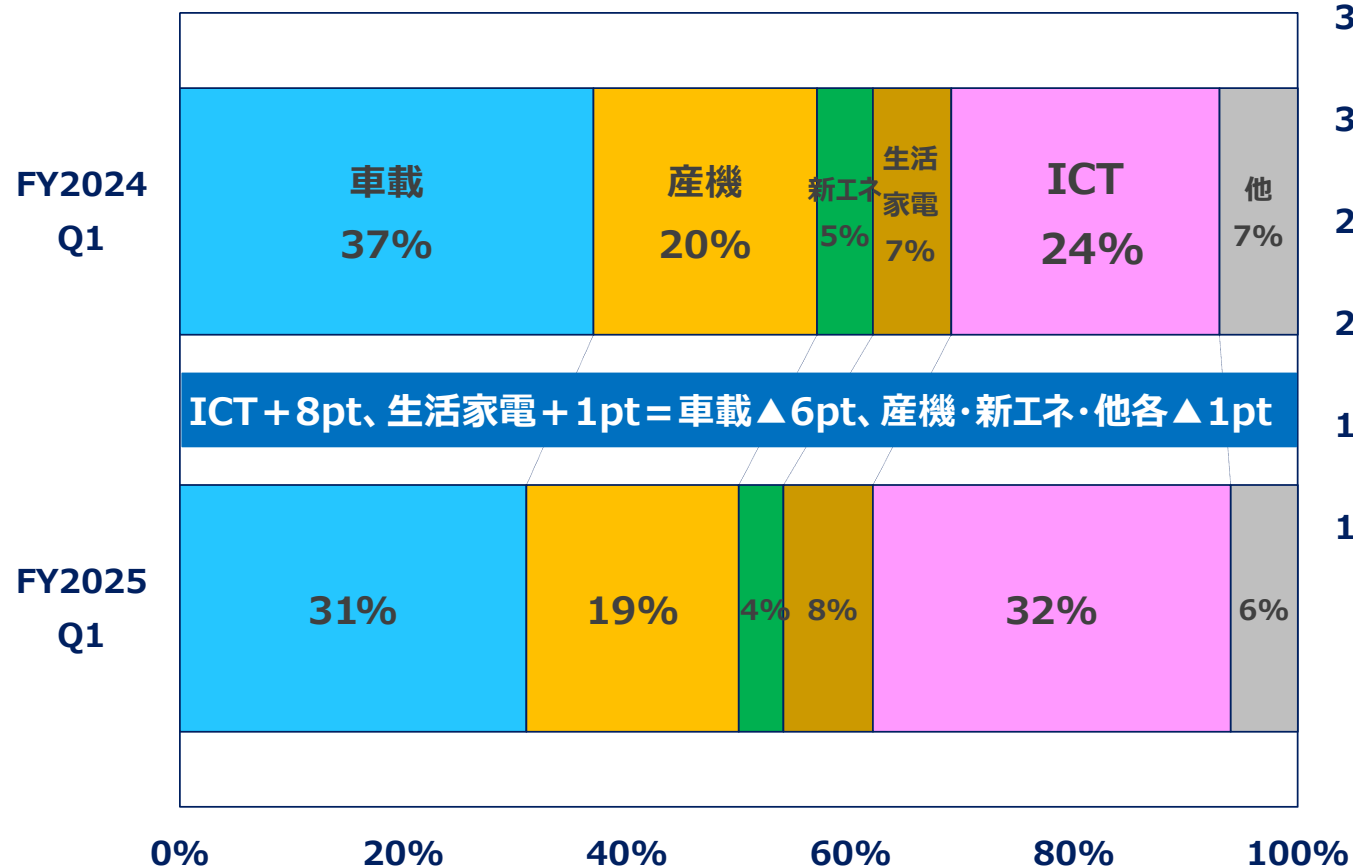
米国相互関税の影響で車載、産機市場が低迷する中、AIサーバー等の増加でICT市場が堅調に推移

単位：百万円、%

	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比	
	第1四半期	第1四半期	増減	増減%
売上高	29,296	30,885	+1,589	+5.4%
営業利益	520	152	-368	-70.7%
売上高比率	1.8%	0.5%	-1.3pt	-
親会社株主に帰属する当期純利益	451	-175	-626	-
売上高比率	1.5%	-0.6%	-2.1pt	-
設備投資	3,582	1,790	-1,792	-50.0%
減価償却費	1,596	1,636	+39	+2.5%
研究開発費	1,023	987	-35	-3.5%
平均為替レート USドル(円)	155.88	144.59	7.2%円高	

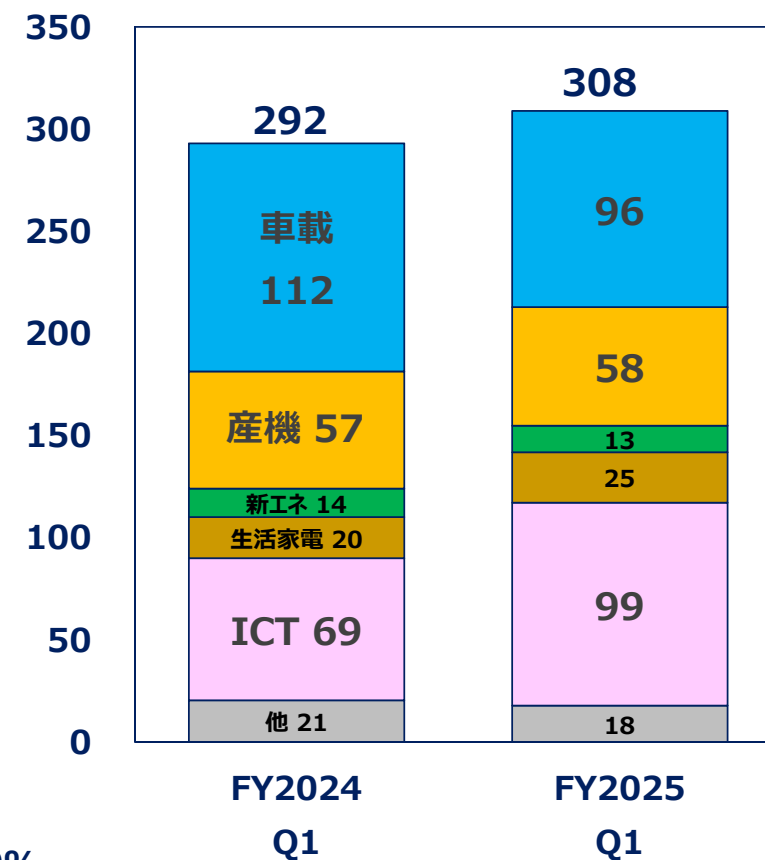
2026年3月期 第1四半期 市場別売上高推移

市場別売上高構成比推移



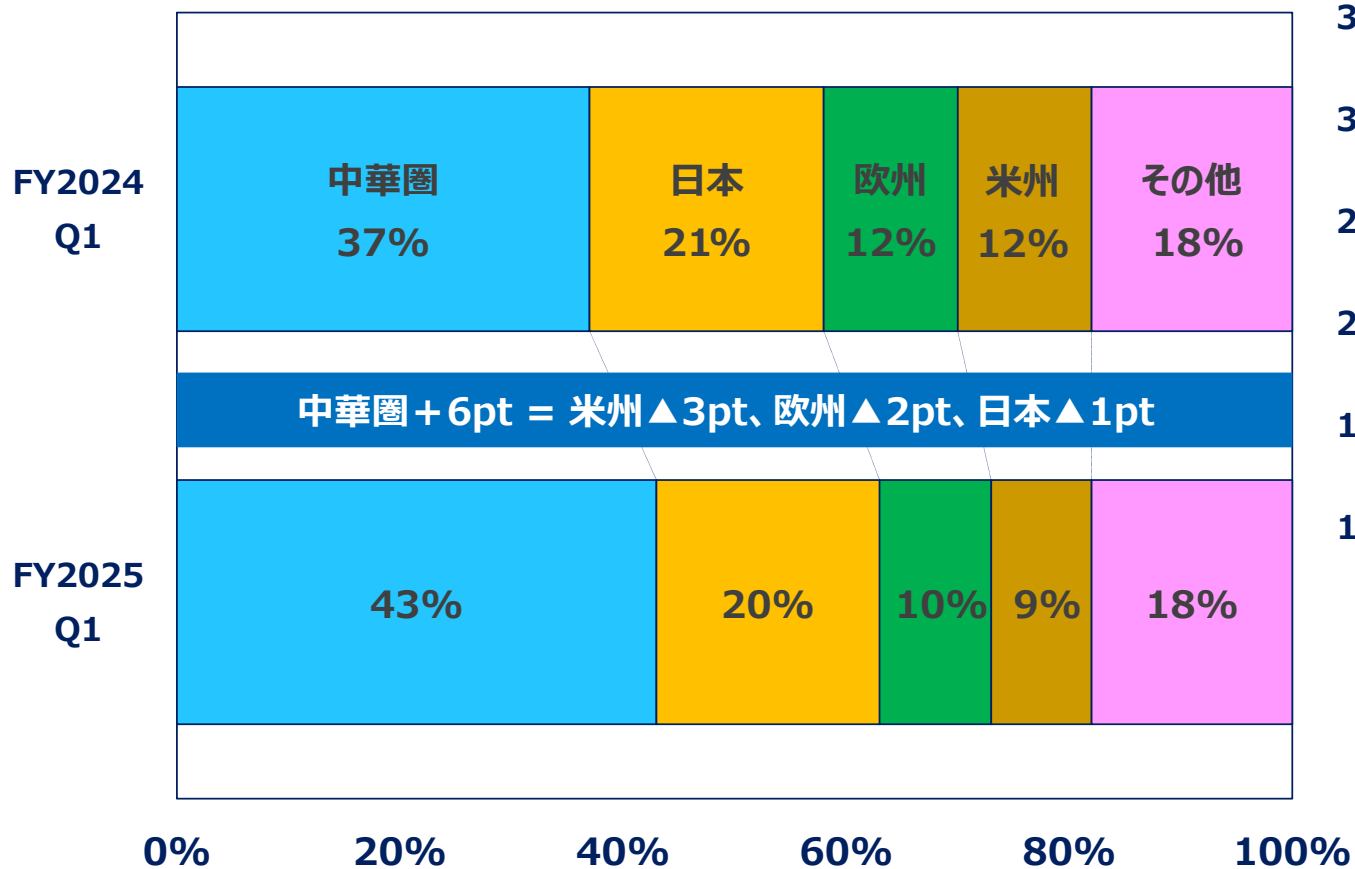
市場別売上高推移

単位：億円



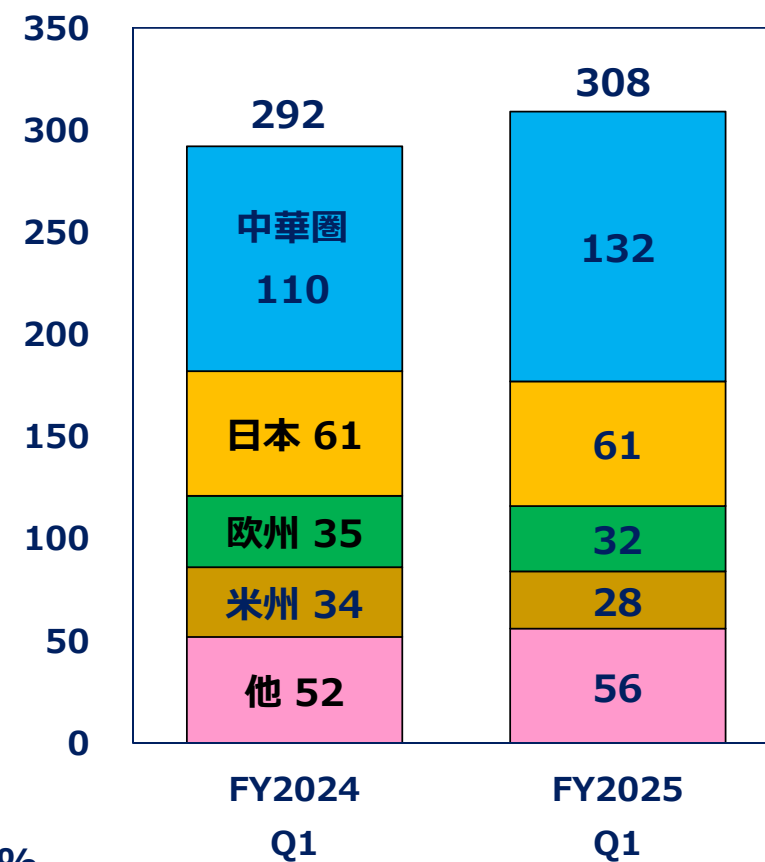
2026年3月期 第1四半期 地域別売上高推移

地域別売上高構成比推移



地域別売上高推移

単位：億円



2026年3月期 第1四半期 製品別売上高実績（前年同期比）

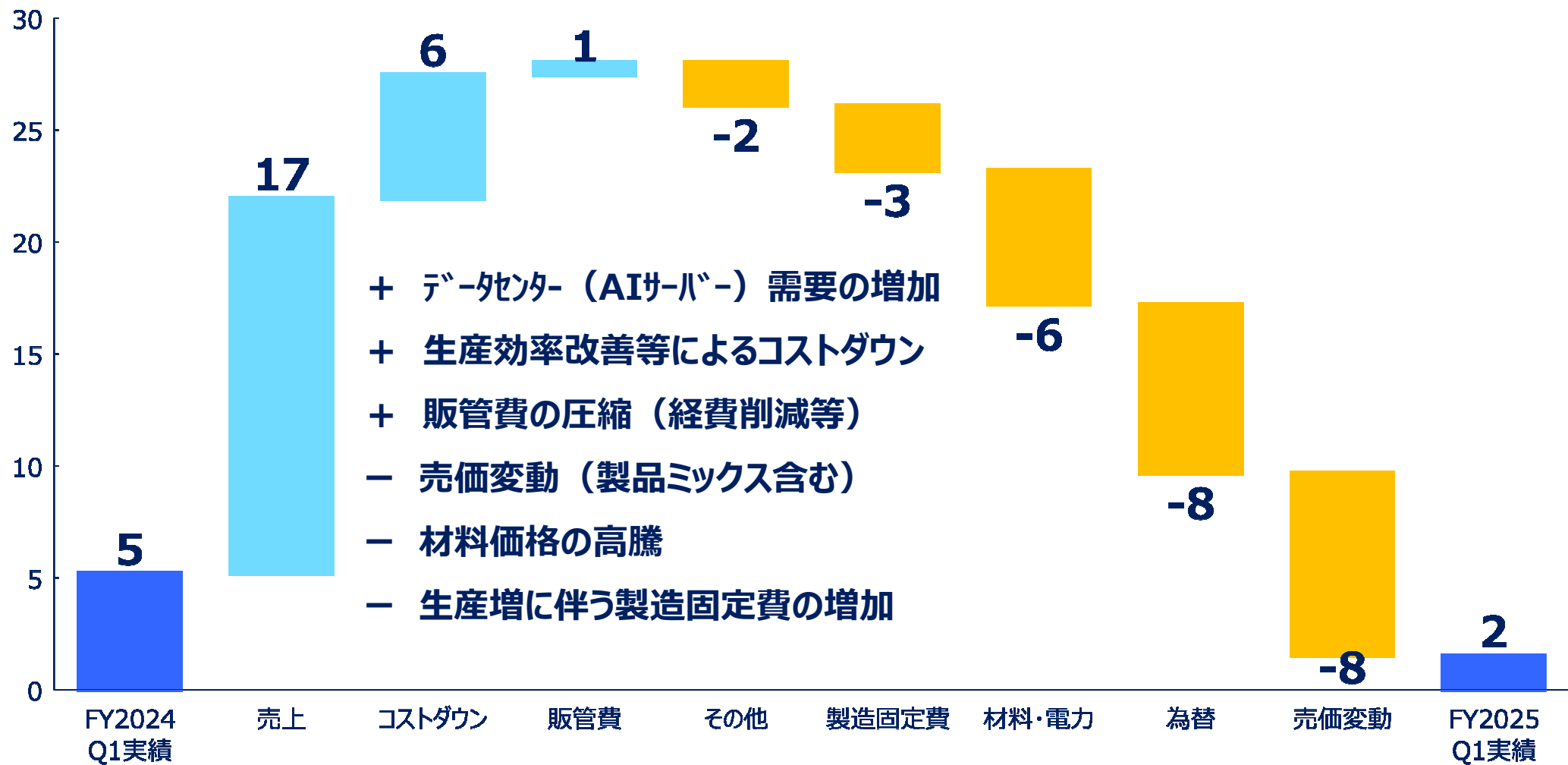
データセンター需要（AIサーバー含む）の増加により、アルミ電解コンデンサ増収

単位：百万円、%

	2025年3月期		2026年3月期		前年同期比	
	第1四半期		第1四半期			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
アルミ電解	25,377	86.6	27,234	88.2%	+1,857	+7.3%
内 導電性	4,910	16.8	5,112	16.6%	+202	+4.1%
DLCAP™	1,015	3.5	838	2.7%	−177	-17.4%
セラコン・バリスタ	584	2.0	600	1.9%	+16	+2.7%
機構その他部品	752	2.6	583	1.9%	−168	-22.5%
コンデンサ材料	1,271	4.3	1,294	4.2%	+23	+1.8%
その他	295	1.0	333	1.1%	+38	+13.0%
合計	29,296	100.0	30,885	100.0%	+1,589	+5.4%

2026年3月期 第1四半期 営業利益増減内容（前年同期比）

単位：億円



今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

〔注意事項〕

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測につきましては、本資料作成時点において入手可能な情報により当社が合理的に判断した予想であり、実際の業績は、今後、様々な要因により変動する場合があることをご承知おき下さい。

また、本資料に記載されている将来予想に関する事項についてその内容を更新し、公表する責任を負いませんのでご了承ください。
投資に関する最終決定につきましては、投資家の皆様ご自身の判断で行われますようお願い致します。

本資料の内容に基づいて投資された結果、万一、何らかの損害を被られましても、当社及び各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。